



平成 28 年 1 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社トクヤマ
代表者名 代表取締役 社長執行役員 横田 浩
(コード番号 4043 東証1部)
問合せ先 経営企画室 広報・IRグループリーダー 小林 太郎
(TEL 03-6205-4832)

特別損失の計上、業績予想の修正、及び役員報酬の返上に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 1 月 29 日開催の取締役会において、下記の通り特別損失を計上することを決議しましたのでお知らせいたします。

また、平成 27 年 10 月 30 日に公表した平成 28 年 3 月期通期業績予想を下記の通り修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

(1) 特別損失の計上について

当社は、連結子会社であるトクヤママレーシア（英語名：Tokuyama Malaysia Sdn. Bhd. マレーシアサラワク州）の多結晶シリコンプラントに関して、事業計画の見直しに伴う減損損失1,234億86百万円を、当第3四半期連結会計期間において、特別損失として計上しました。

(2) 減損損失の発生に至った経緯

トクヤママレーシアの多結晶シリコンプラントは、平成 26 年 10 月に営業運転を開始し、太陽電池向けグレードの生産を行ってきました。しかし、世界的な供給過剰を背景とした販売価格の著しい下落が続き、今後の価格見通しが事業計画における想定を大きく下回ることとなりました。

そのため、多結晶シリコン市況の下落に基づく事業環境の悪化と、平成 27 年 10～11 月に実施したトクヤママレーシア多結晶シリコンプラントの定修後の状況を踏まえ、トクヤママレーシアの中長期の事業計画を見直し、将来の投資回収可能性を検討した結果、今回の特別損失の計上に至りました。

2. 業績予想の修正

平成 28 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純損益	1 株当たり 当期純損益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	185,000	8,000	8,500	24.44
今回修正予想（B）	185,000	22,000	△104,000	△298.97
増減額（B－A）	0	14,000	△112,500	－
増減率（%）	－	175.0	－	－
（ご参考）前期実績 （平成 27 年 3 月期）	184,043	18,665	△62,950	△180.96

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純損益	1 株当たり 当期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	306,000	20,000	14,000	14,000	40.25
今回修正予想（B）	306,000	20,000	15,000	△103,000	△296.10
増減額（B－A）	0	0	1,000	△117,000	－
増減率（%）	－	－	7.1	－	－
（ご参考）前期実績 （平成 27 年 3 月期）	302,085	19,530	12,920	△65,349	△187.85

修正の理由

通期個別業績予想につきましては、売上高は予想通りを見込んでいます。経常利益は、営業外費用での計上を見込んでいたトクヤママレーシアに対する投資損失引当金を、関係会社株式評価損として特別損失に計上することにより、予想を上回る見込みです。当期純損益は、上記特別損失の計上等により、予想より大幅に悪化し、純損失となる見込みです。

通期連結業績予想につきましては、売上高と営業利益、経常利益はほぼ予想通りを見込んでいます。親会社株主に帰属する当期純損益は、上記特別損失の計上等により、予想より大幅に悪化し、純損失となる見込みです。

3. 役員報酬の返上

連結子会社であるトクヤママレーシアの多結晶シリコンプラントに関して、減損損失1,234億86百万円を当第3四半期連結会計期間において特別損失に計上することを重く受け止め、以下の通り平成28年6月までの役員報酬の自主返上を実施いたします。

役員報酬の返上内容

会長執行役員、社長執行役員 年俸 50%を自主返上

それ以外の執行役員、理事 年俸 30%を自主返上

以上

注意事項：

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。